

Stereo Sound

ステレオサウンドグランプリ2012

'12-'13 ベストバイコンポーネント552選

2 0 1 3
W I N T E R
N o . 1 8 5



#27

AD Player

ターレス・トーンアーム **TTT-Compact with Simplicity** ¥2,100,000(セット)

トーンアーム部(Simplicity)●型式:スタティックバランス型●適合カートリッジ自重:5~25g ターンテーブル部(TTT-Compact)●駆動方式:ベルトドライブ●回転数:33・1/3、45rpm●ターンテーブル自重:4.7kg●寸法/重量:W432×H91×D312mm/16kg●備考:オプションでLivi-Base(¥240,000)、Thales Phono Cable(¥100,000ペア・1.5m)あり●問合せ先:株式会社ユキム ☎03(5743)6202●試聴記掲載:185号

Thales Tonarm



THALES TONARM

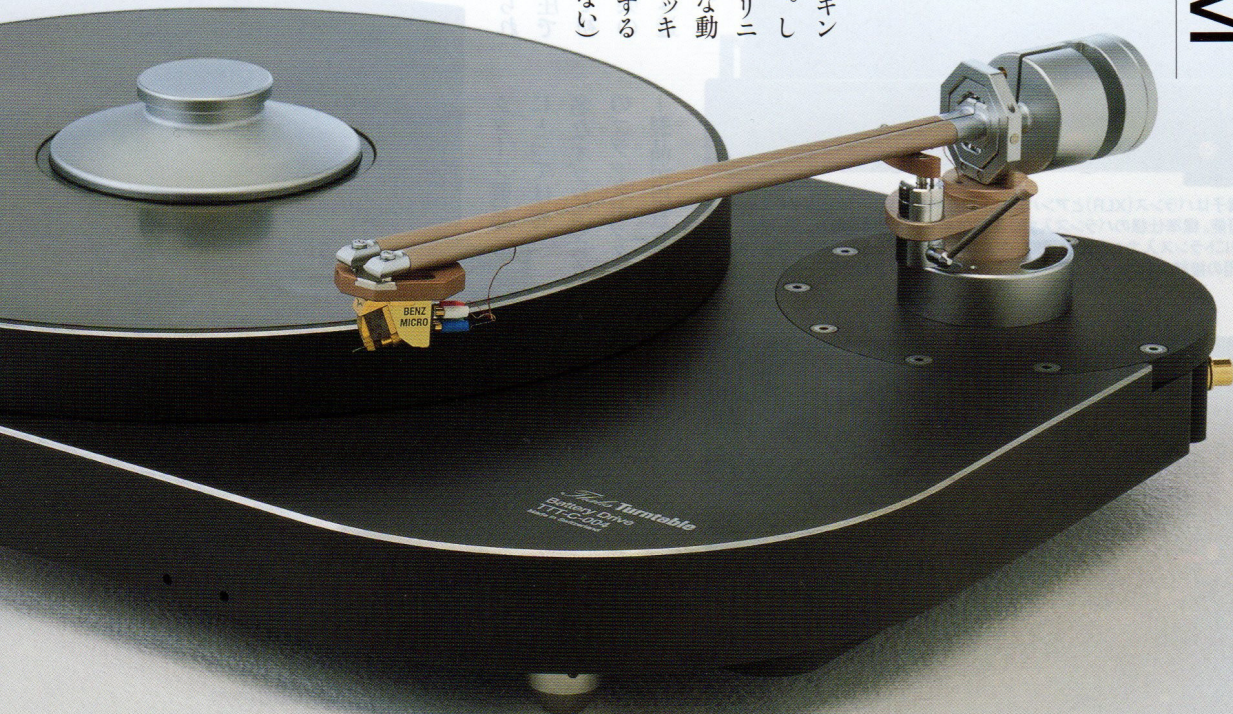
TTT-Compact

With Simplicity

時計職人としての金属精密加工技術を活かし、凝りに凝った機構で、トラッキングエラー・レスのトーンアームをつくりあげオーディオ界にデビューしたのが、スイスのターレスだ。第一作の「ターレス」は、複雑な構造や取り扱いの難しさ等があり、よりシンプルな機構で、第一作と同等の効果を得ようとして開発されたのが、昨年登場した「シンプリシテイ」だった。トラッキングエラーとは、針先がレコードの音溝をトレースする際に、針と溝との間に不要な角度がつく現象で、これは一般的なスイングアームでは不可避。この問題を回避するためにこれまでいくつかの方式が考案されているが、一直線状に

アームが移動するリニアトラッキングが、その代表的な方式である。しかし、ターレスのトーンアームはリニアトラッキングではなく、明確な動作支点を持ちながら(リニアトラッキングはアームを「滑らせて」動作するため、機械的支点が明解とならない)エラー・レスを目指した。これら動作原理は古くから知られていたが、かつてないほどの精密さで製品を仕上げているところが同社製品の最大の特徴だ。

さて、ここに紹介するのは、前記「シンプリシテイ」とベストマッチとなるターンテーブル「TTT-C」(ターレス・ター



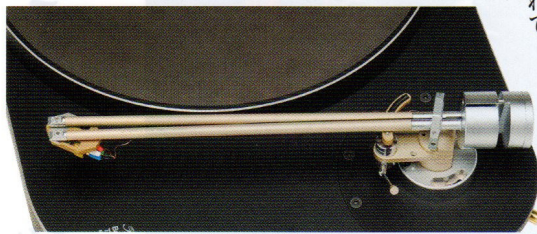
ターレス・トーンアーム

TTT-Compact with Simplicity ¥2,100,000(セット)

トーンアーム部(Simplicity) ●型式:スタティックバランス型 ●適合カートリッジ自重:5~25g ターンテーブル部(TTT-Compact) ●駆動方式:ベルトドライブ ●回転数:33・1/3、45rpm ●ターンテーブル自重:4.7kg ●寸法/重量:W432×H91×D312mm/16kg ●備考:オプションでLivi-Base(¥240,000)、Thales Phono Cable(¥100,000ペア・1.5m)あり。写真のフォノカートリッジ(ベンツ・マイクロ/SLRガルウイング)は別売り ●問合せ先:株式会社 藤ユキム ☎03(5743)6202

COMPONENTS

状態の金属で懸架されており、これにより振動がシャーンに伝わることを防いでいる。モーターは独特な形、状の金属で懸架されており、これにより振動がシャーンに伝わることを防いでいる。モータープリーリーの回転は精巧な丸ベルトによってインナープラーターに伝えられるが、ベルトの径とピッチの溝が両者に彫られており、寸分の狂いもなく、ベルトがまったくふたつの溝に嵌まり込んでいくのには嘩然とさせられた。通常



2本のパイプが連係しながらも独立して動く、トーンアームのSimplicity。製作は設計者である主宰者のミッハ・フーバー氏自らがこなす。TTT-CompactはこのSimplicityの能力を最大限発揮させるために設計された専用ターンテーブルといっても過言ではない。ただし、ターンテーブル単体での発売もされており、アームベースをオーダーすることで、他社製トーンアームの搭載も可能である。



アウトプラーターを取り外すと、インナープラーターとモーターが姿を現す。モーターはインナープラーター直近に置かれ、微振動が伝わりぬよう、金属片で懸架される。プリーリーには回転ムラを抑えるためであろう、フライホイールが取り付けられている。このモーターはバッテリーで駆動しており、一回の充電で最大16時間稼働可能。

「TTT-C」は、バッテリー駆動のDCモーターを用いたベルトドライブ機。センタースピンドルシャフトおよび軸受は、ほればれとする出来で、シャフトを一旦抜いてしまうと、再度挿入しようとしてもなかなか沈み込まないほどの精密な加工が施されている。モーターは独特な形、

は上下のズレがあっても吸収できる。平ベルトを採用するものなのだ。アナログファンなら一度は聴くべき新次元のサウンド。かつて聴いた覚えがない、クリー

ンかつ温かな音。恐るべきレゾリユーションを聴かせるが、決して無機的にならず、アナログらしい肌触りのよさを保った新次元のサウンドだ。ダイナミックレンジも音場も広大であり、楽器のサイズ、質量の表出に

かつて聴いた覚えのない
 クリーンで温かな音——小野寺弘滋



のロス感、あるいは大型機に時折見られるストック感皆無、ストレスフリーな鳴り方はすこぶる快感的だった。回転精度も最高。ただし音数の多さを誇示するアグレッシブな鳴り方ではないため、そこに不満を覚える向きもいらつしやるかもしれない。バッテリー駆動はノイズ低減のための方策であるが、アナログにつきもののノイズを「敵視」していない音づくりは現代機では希で、感服させられた。

私にとってトラッキングエラーの存在は大きな問題ではないし、バッテリー駆動という点に個人的には抵抗がある。アームの操作も楽しいとは言えない。しかしながら、本機が聴かせるサウンドに賞賛を惜しむ気にはなれないのである。アナログファンなら一度は聴くべき製品。